

県内(地域・業種別)の経営環境と業況感(2011年4~6月期見通し・2011年度見通し)

～第43回おきぎん企業動向調査(2011年1~3月期)調査結果より～

I. はじめに

1. 調査の結果

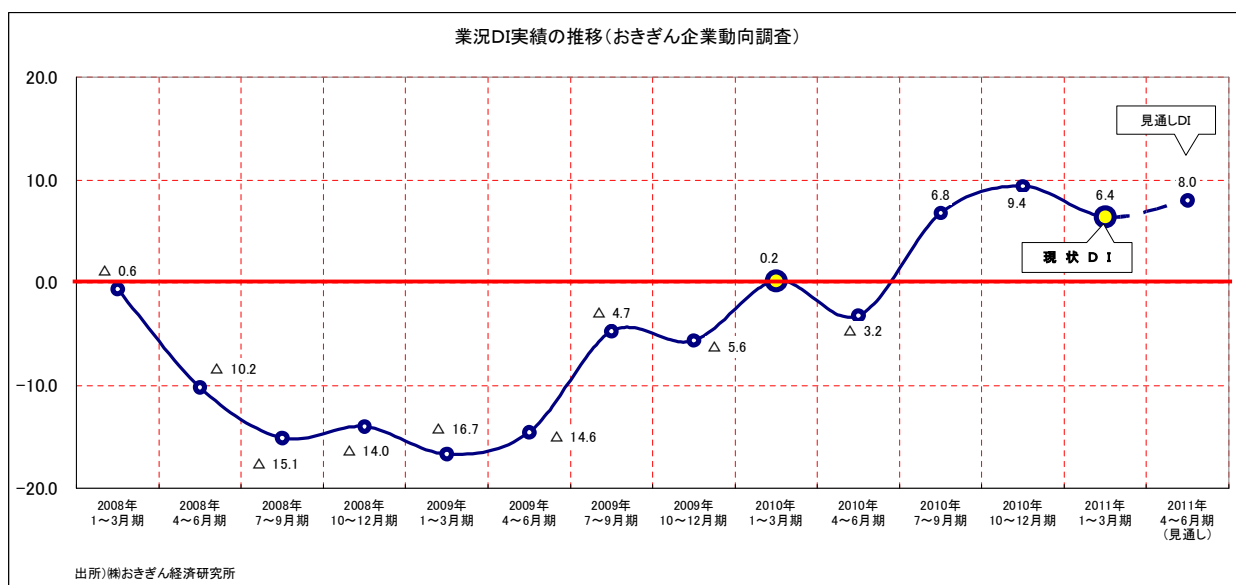
業況DIの推移

期間・結果	2010年				2011年	
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期(見通し)
項目	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前期比DI
全業種計	0.2	△ 3.2	6.8	9.4	6.4	8.0
製造業	△ 7.7	△ 23.0	0.0	△ 9.3	△ 8.9	△ 7.1
土木業	9.5	△ 12.8	△ 32.1	△ 11.8	△ 6.5	△ 16.1
建築業	5.0	△ 5.6	5.5	6.6	17.4	10.1
卸売業	△ 5.6	△ 16.1	△ 11.8	△ 3.3	△ 8.0	1.1
小売業	0.0	6.9	25.7	18.2	0.0	15.1
情報通信サービス業	36.4	25.0	30.8	33.3	38.5	15.4
医療・福祉	28.6	30.6	29.0	20.0	16.1	9.7
その他サービス業(宿泊・飲食等)	△ 13.2	6.3	22.9	35.7	11.4	25.0
その他(不動産、運輸等)	△ 1.0	△ 3.2	5.6	18.4	19.4	14.3

2011年1~3月期調査の業況DIは6.4(前年同期比)となりました。

業種別でみると、建築業、情報通信サービス業、医療・福祉、その他サービス業、その他で「業況改善の動き」が見られ、小売業は「横ばい」となりました。一方で製造業、土木業、卸売業において「業況の弱さ」が見られます。

2011年4~6月期の業況見通しDIについては8.0となり、製造業及び土木業を除く各業種において「業況の改善の動き」が見込まれています。



2. 調査の概要: 本調査は各企業の業況や売上高、売上・仕入単価、収益面等の経営状況項目について、主に経営者の判断(当期実績、次期見通し)をDI(景気動向指数)として取りまとめたものです。

- a. 調査時期: 2011年2月下旬～3月上旬
- b. 調査対象: 県内企業 503社
- c. 調査内容: ①業況 ②売上高 ③売上単価 ④仕入単価 ⑤採算 ⑥引き合い(受注)
⑦雇用 ⑧IT関連投資 ⑨その他の投資(IT以外への投資)

—おきぎんDIについて—

主に企業経営者の業況などに関する実績判断や見通しを「好転・上昇・増加」、「不変(変わらない)」、「悪化・低下・減少」のいずれかでお答えいただき、それらの割合を表したものです(本レポートでは方向性を示すため「悪化・低下・減少」はマイナス表示を用いています)。

①「好転・上昇・増加」+「不変(変わらない)」+「悪化・低下・減少」=100%

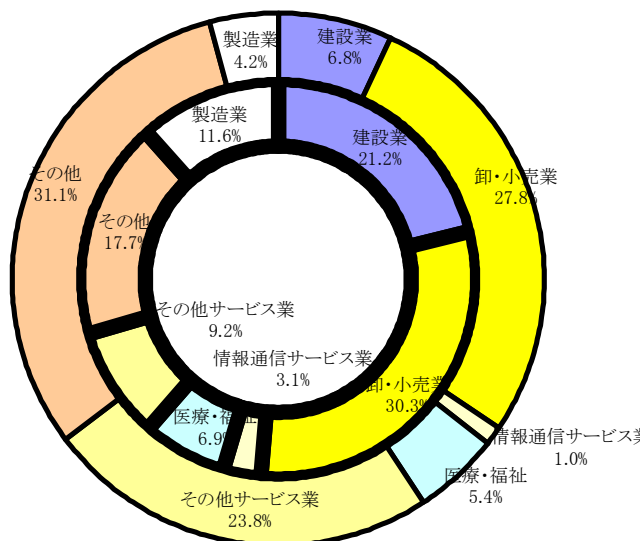
②DI=「好転・上昇・増加」の割合(%)－「悪化・低下・減少」の割合(%)

上記①、②から、DIがプラスなら景気が良い(または上昇見込み)、マイナスなら悪い(または下降見込み)といった具合にご覧いただけます。

3. 調査対象企業の業種・所在地構成

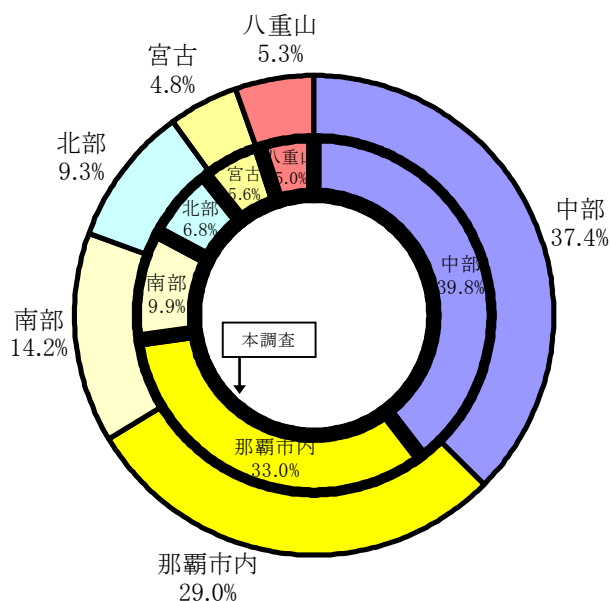
県内の産業別事業所数および事業所所在地構成(2006年事業所・企業統計調査)と比較すると、本調査はその他サービス業(宿泊、飲食等)及びその他(不動産、運輸等)が少なく、製造業、建設業(本調査では土木業・建築業)、卸・小売業が多いサンプリングになっています。なお所在地は、中部、那覇市内で7割を超えるシェアとなっています。

県内の産業別事業所数の構成(外円)、
本調査の回答事業所数の業種構成(内円)



資料) 総務省、当行

県内の事業所所在地構成(外円)、
本調査の事業所所在地構成(内円)



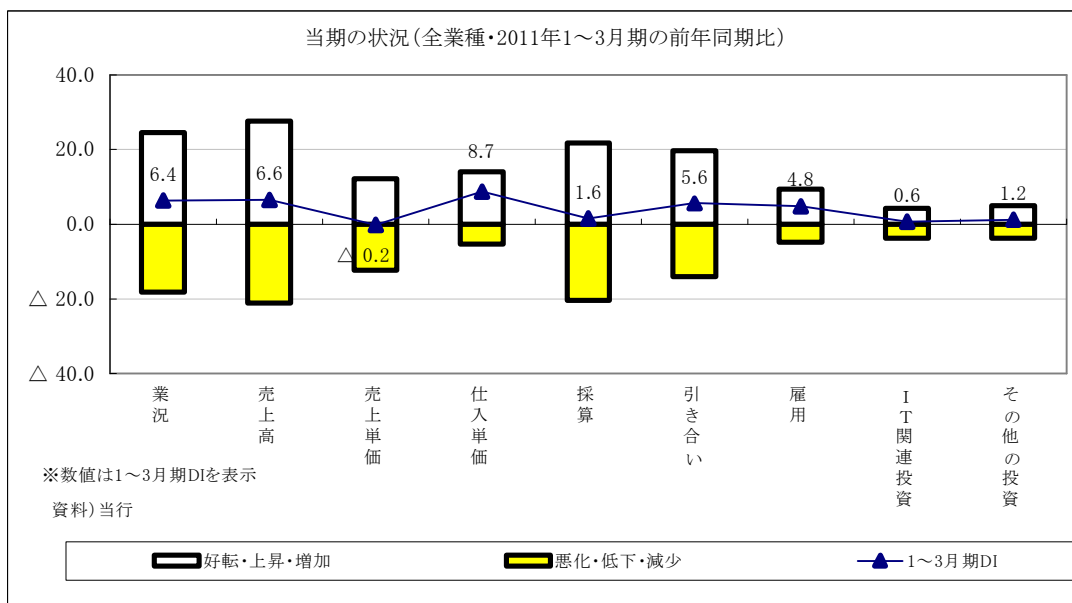
資料) 総務省、当行

II. 調査結果(1) ～おきぎんDI: 県内の経営環境と業況感について～

1. 全業種

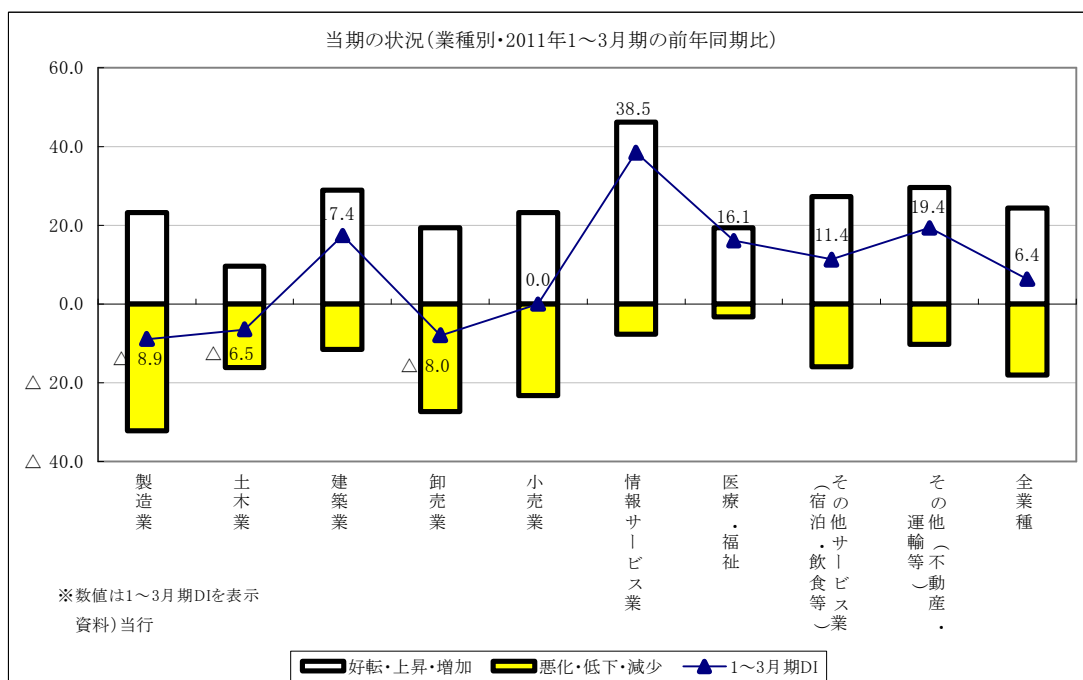
a. ①当期の状況(項目別・2011年1～3月期の前年同期比)

当期の業況DIを見ると、原油価格の高騰などから仕入価格(8.7)は上昇しています。引き合い(5.6)、売上高(6.6)の増加から採算(1.6)は若干改善しています。販路拡大など営業強化の動きから雇用(4.8)も増加傾向となっています。全体として**業況改善の動き**が見られます。



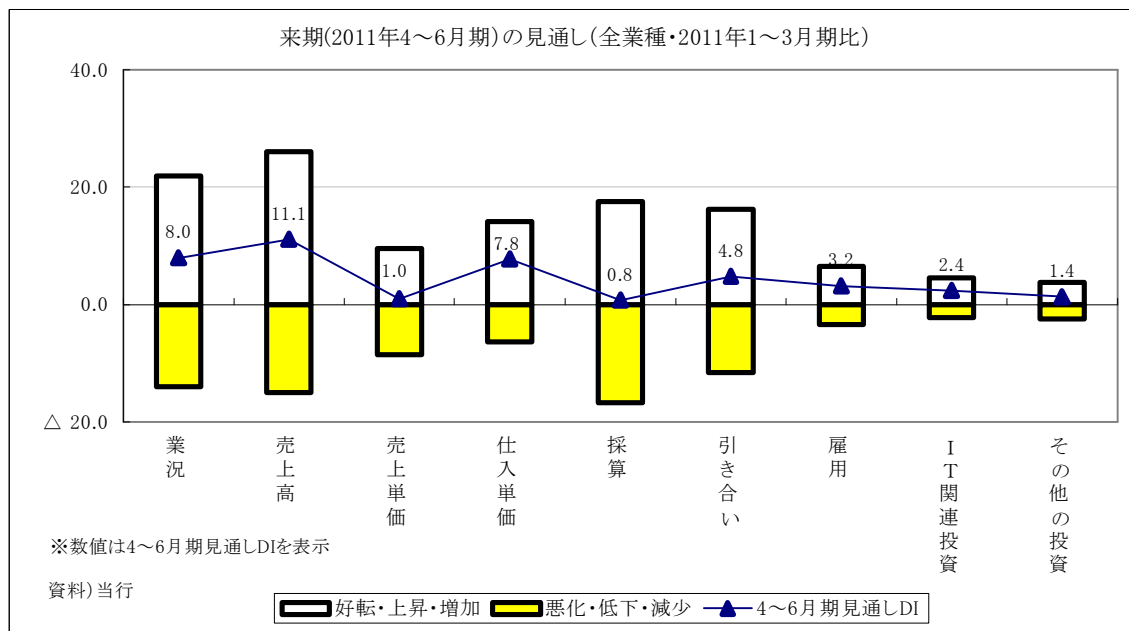
a. ②当期の状況(業種別・2011年1～3月期の前年同期比)

当期の状況を業種別に見ると、継続的な公共工事の減少から、土木業を中心に建設関連の製造業、卸売業において業況が悪化しています。一方、建築業は民間工事等で需要の増加が見られます。プロ野球キャンプ効果による那覇市内飲食店や宿泊施設の需要増加などからその他サービス業で改善しました。全体として、**業況改善の動き**が見られます。



b.①来期の見通し(項目別・2011年4～6月期の2011年1～3月期比)

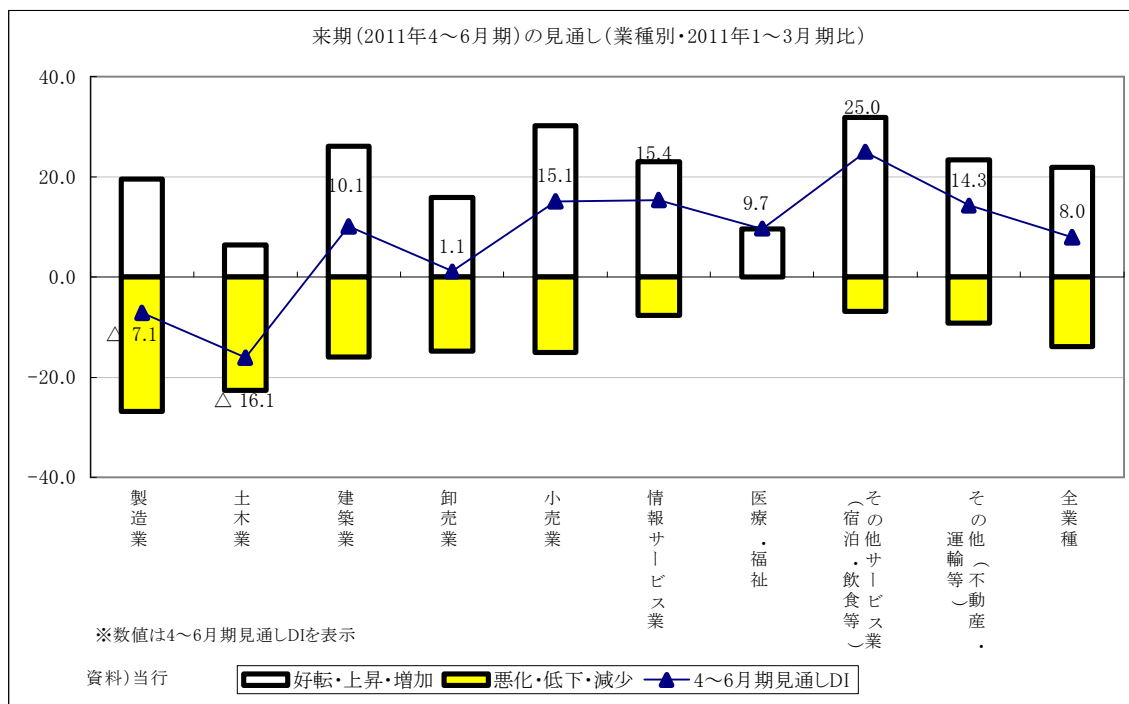
来期(2011年4～6月期)の見通しDIを見ると、原材料価格の高騰などから仕入価格(7.8)の上昇が懸念されていますが、売上高の上昇などにより採算(0.8)は横ばいを見込みます。雇用(3.2)も引き続き増加見込みとなり、各項目において**業況改善の動き**となっています。



b.②来期の見通し(業種別・2011年4～6月期の2011年1～3月期比)

来期(2011年4～6月期)の見通しDIを業種別に見ると、公共工事の減少期などから製造業、土木業において悪化見込みとなります。

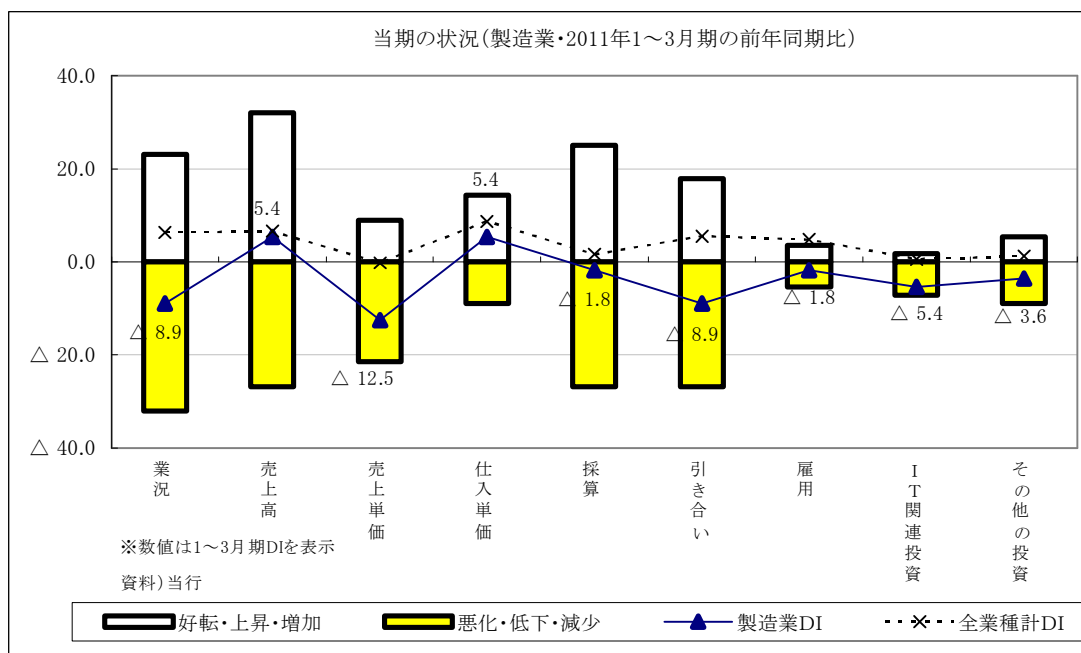
新年度に伴う各種需要の増加やゴールデンウィークによる観光客数増加の期待から小売業、その他サービス業、その他などで**業況改善の動き**が見込まれます。



2. 製造業

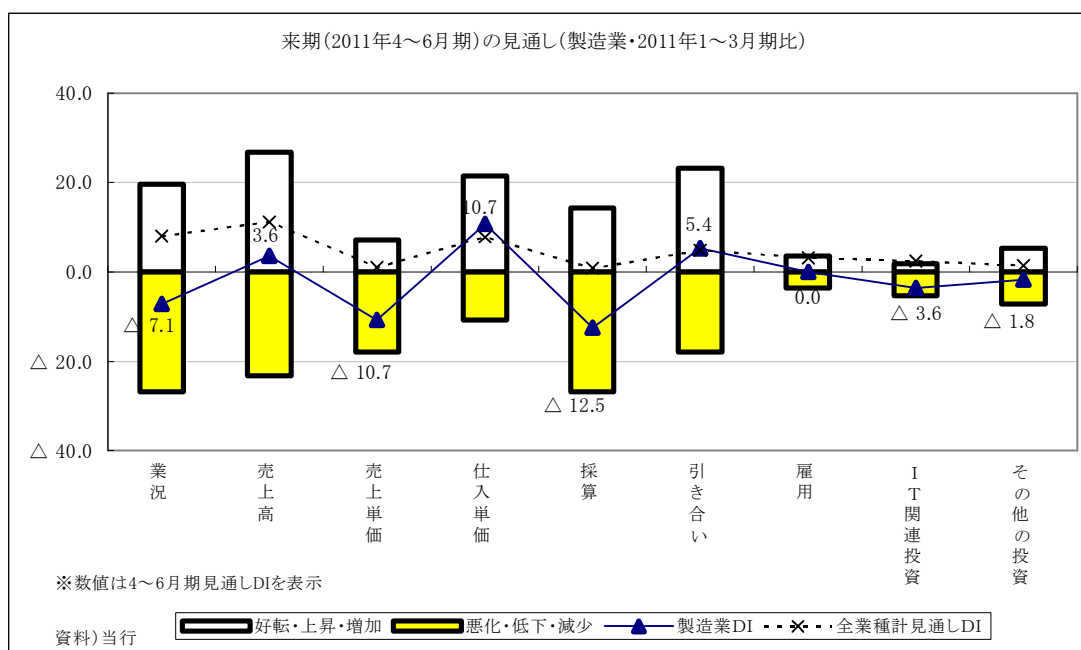
a. 当期の状況 (2011年1～3月期の前年同期比)

製造業 DI を見ると、継続的な消費低迷に加え、公共工事の減少や原油価格の上昇などにより、建設関連や泡盛製造業、食品製造業など各業界において売上単価の下落、引き合いの低下、採算の悪化が見られます。商品開発や各種イベントへの出店などにより一部において販路拡大の動きが見られるものの、製造業全体として**業況の弱さ**が見られます。



b. 来期の見通し (2011年4～6月期の2011年1～3月期比)

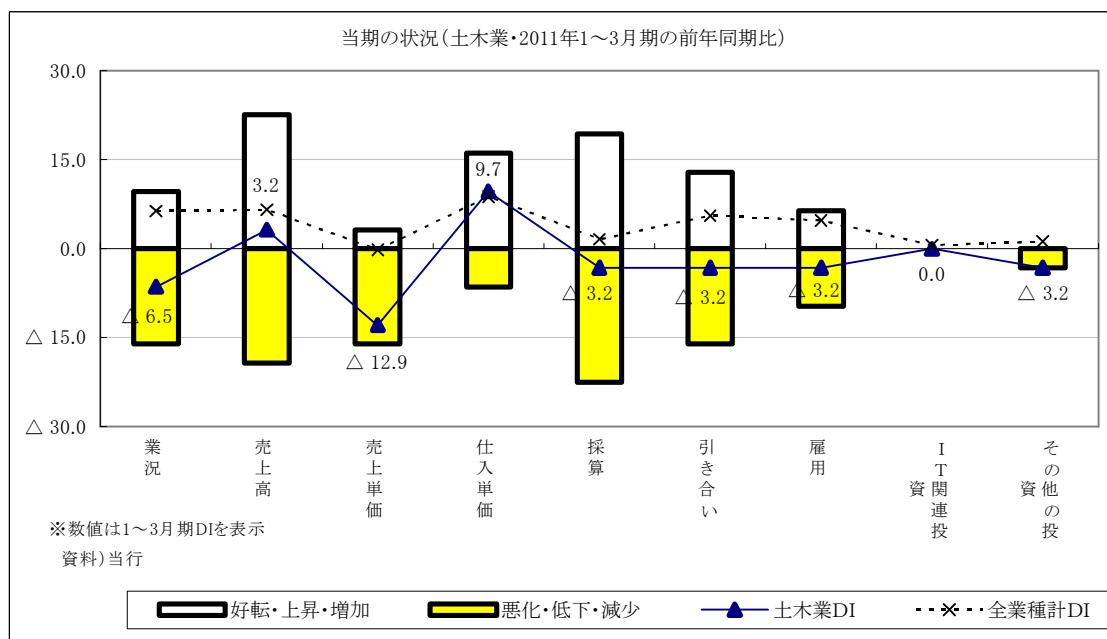
来期の見通しを見ると、原油価格の上昇に加え砂糖や小麦などの原材料価格の上昇が懸念され、採算悪化が見込まれます。4～6月期は建設業(土木・建築)において公共工事がピークアウトし、建設関連の需要が減少する時期となります。新年度やゴールデンウィークによる観光・ビジネス等の需要増加が期待されるものの製造業全体として**業況の弱さ**が見られます。



3. 土木業

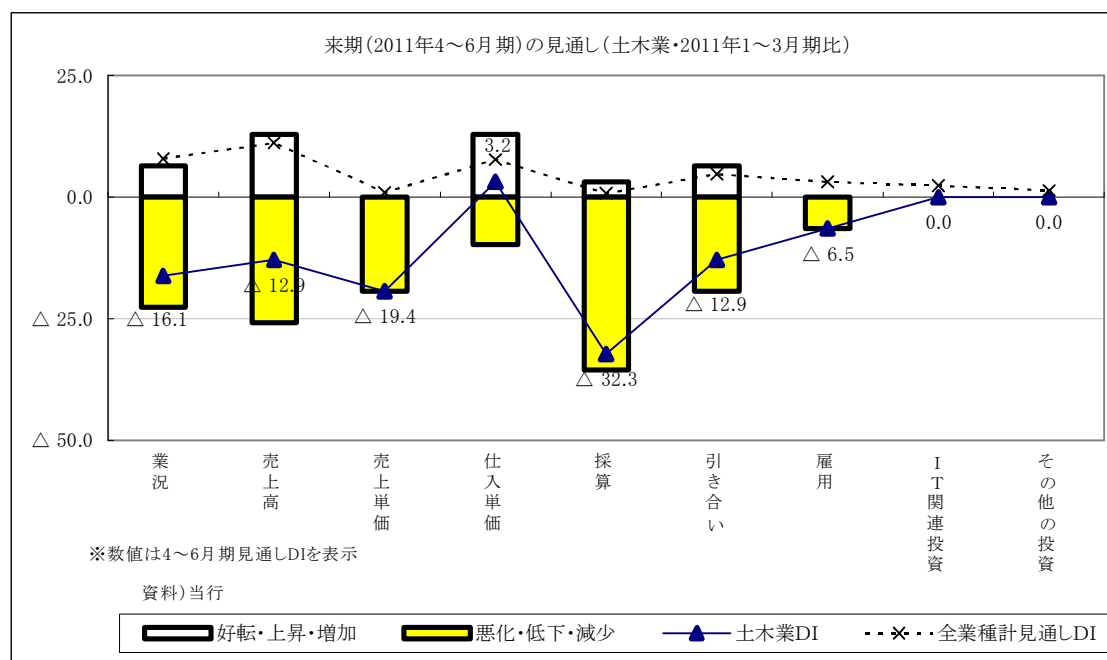
a. 当期の状況 (2011年1～3月期の前年同期比)

土木業DIを見ると、軍関係工事や新石垣空港関連工事など一部においては受注が確保されているものの業界全体として公共工事の減少が続き、受注環境は厳しさが続きます。厳しさをます価格競争に加え、原油価格の高騰などから、各項目とも悪化を示しています。土木業全体として**業況の弱さ**が見られます。



b. 来期の見通し (2011年4～6月期の2011年1～3月期比)

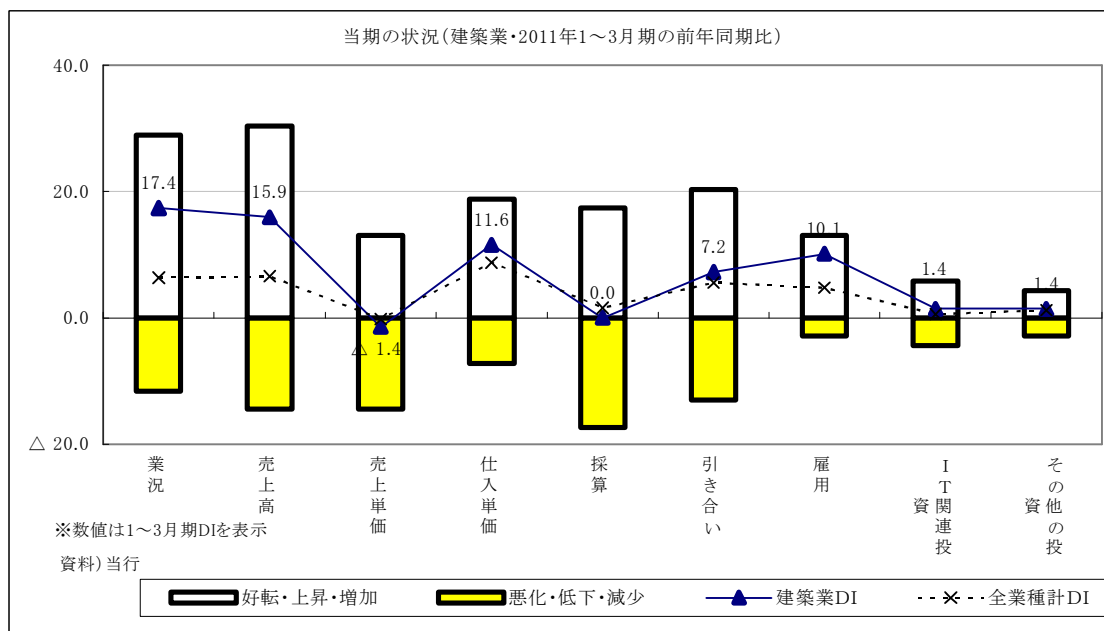
来期の見通し土木業DIを見ると、4～6月期は公共工事の需要が減少する時期となり、引き合いや売上は大きく低下する見込みです。引続き原材料価格の上昇も見込まれ採算も悪化見込みとなり、土木業全体として**業況の弱さ**が見られます。



4. 建築業

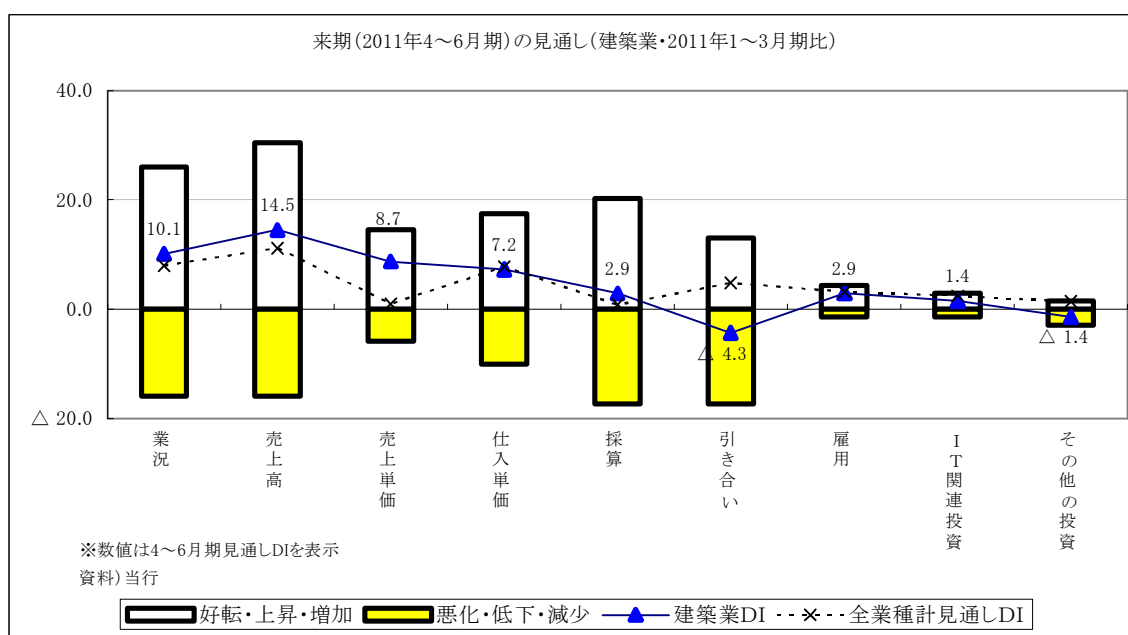
a. 当期の状況 (2011年1～3月期の前年同期比)

建築業DIを見ると、公共工事は土木業同様厳しい状況は続くものの、前年同期と比較すると個人住宅やアパート建築、医療機関向けなどの民間工事が増加傾向にあります。太陽光パネル設置工事なども増加しています。競争入札や原材料価格の上昇などから採算の改善には至らないものの、建築業全体として**業況改善の動き**が見られます。



b. 来期の見通し (2011年4～6月期の2011年1～3月期比)

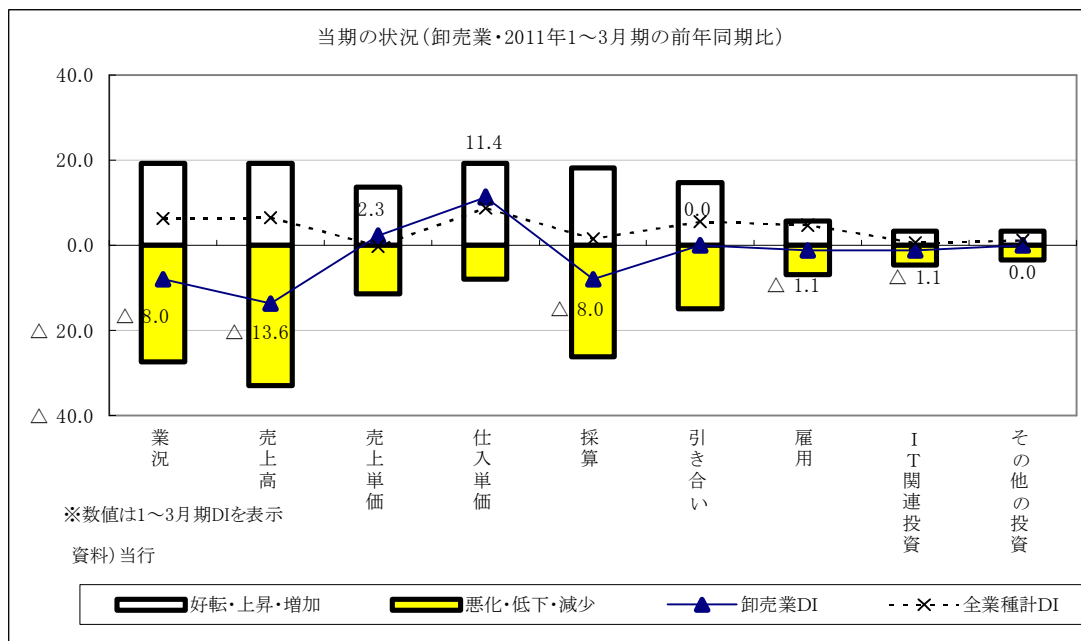
来期の見通し建築業DIを見ると、公共工事の減少期となりますが、引続き営業活動の強化による民間工事受注増加が期待されます。懸念される原材料価格の高騰についても、仕入時期の調整による大量ストックなど採算確保に努めます。建築業全体として**業況改善の動き**が見られます。



5. 卸売業

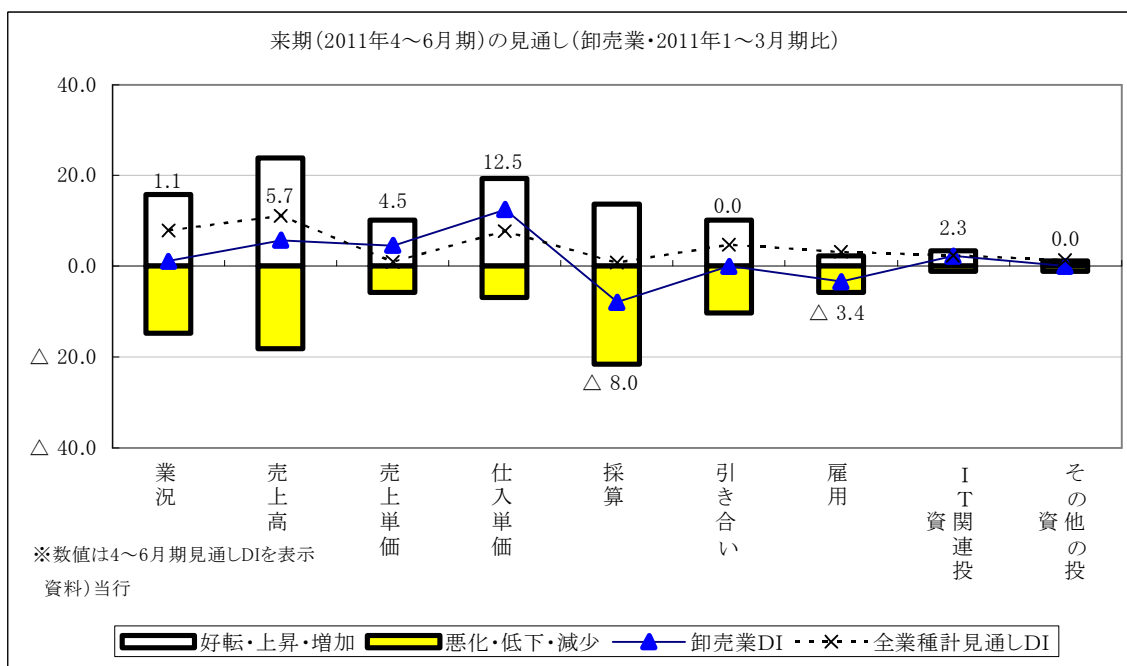
a. 当期の状況 (2011年1～3月期の前年同期比)

卸売業DIを見ると、天候不順などによる青果物生産量の減少及び仕入コストの上昇、モズク生産量の減少、たばこ税増税によるタバコ需要の減少の影響が見られます。建設関連は公共工事向けは減少するものの民間工事向けは増加しています。原材料価格の上昇などから、採算は悪化しており、卸売業全体として**業況の弱さ**が見られます。



b. 来期の見通し (2011年4～6月期の2011年1～3月期比)

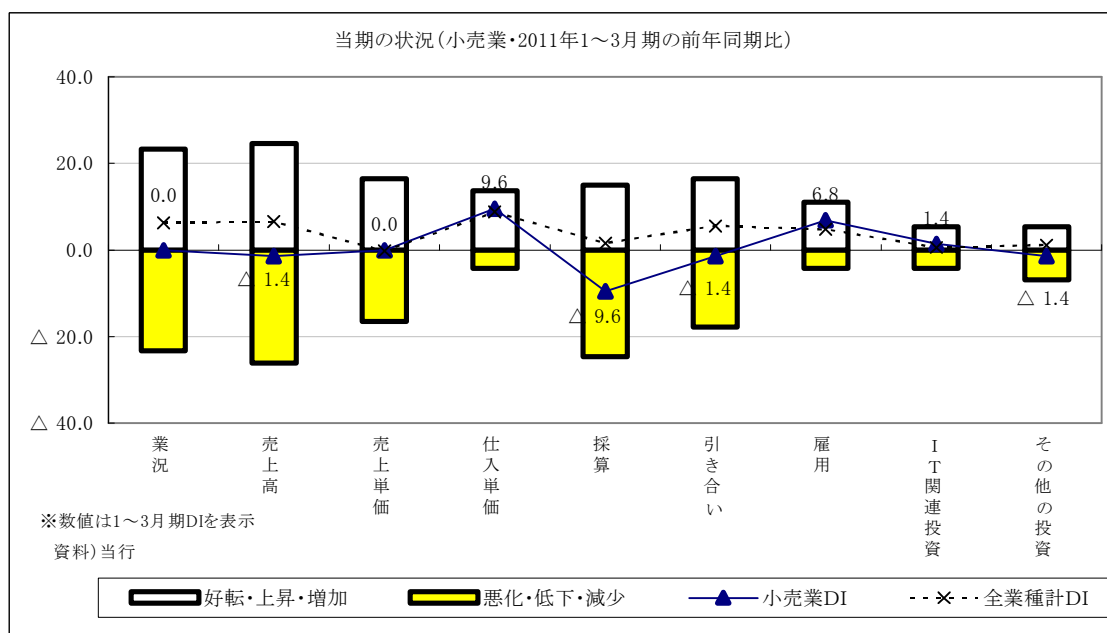
来期の見通しを見ると、原材料価格(砂糖・小麦等)の上昇や、青果物の動向、NZ地震による牛肉仕入れの動向などが懸念されます。引き合いについては、母の日などの季節的な花卉需要、地デジ移行によるテレビ買換え需要などが見込まれます。インターネットを活用した販促強化の取組による県外及び東アジア向けの出荷の動きなどから、卸売業全体としては**業況改善の動き**が見られます。



6. 小売業

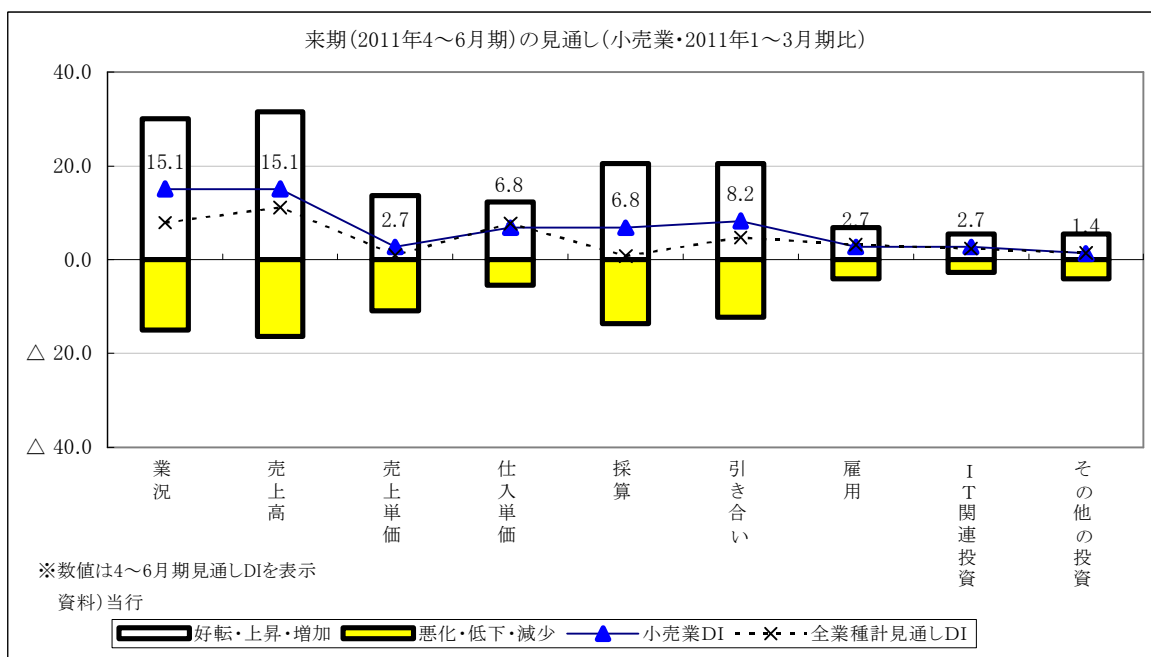
a. 当期の状況 (2011年1～3月期の前年同期比)

小売業DIを見ると、プロ野球キャンプ効果により那覇市内のお土産品店やコンビニエンスストアは好調でした。また、1～2月の冷え込みにより冬物衣料や暖房器具などの需要が高まりました。一方、エコカー補助金の終了による反動減やたばこ税増税による買い控え、観光客減少による全体的なお土産品需要減少もあり、小売業全体では**業況横ばい**の動きが見られます。



b. 来期の見通し (2011年4～6月期の2011年1～3月期比)

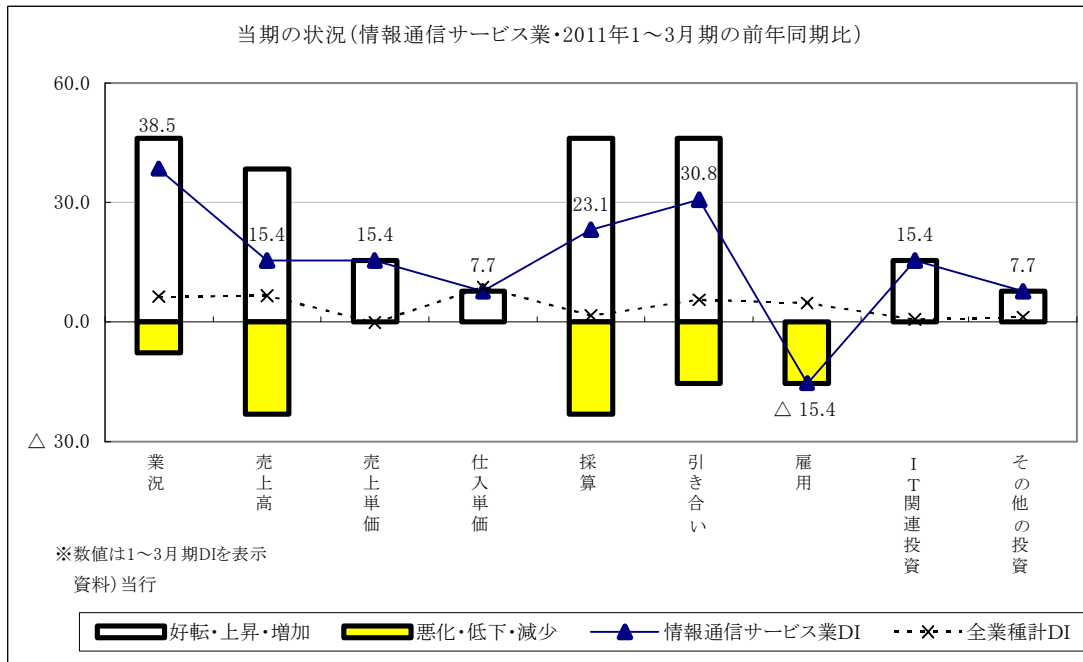
来期の見通し小売業DIを見ると、新入学・新社会人シーズンによる各種商品需要の増加が期待されます。携帯電話においても売上好調なスマートフォンの品揃え充実化により、販売強化の動きとなります。補助金制度終了の反動減が続く自動車販売業においても、エコカー商品の充実やエコカー減税制度のPRなどにより需要の取込を狙います。小売業全体では**業況改善**の動きが見られます。



7. 情報通信サービス業

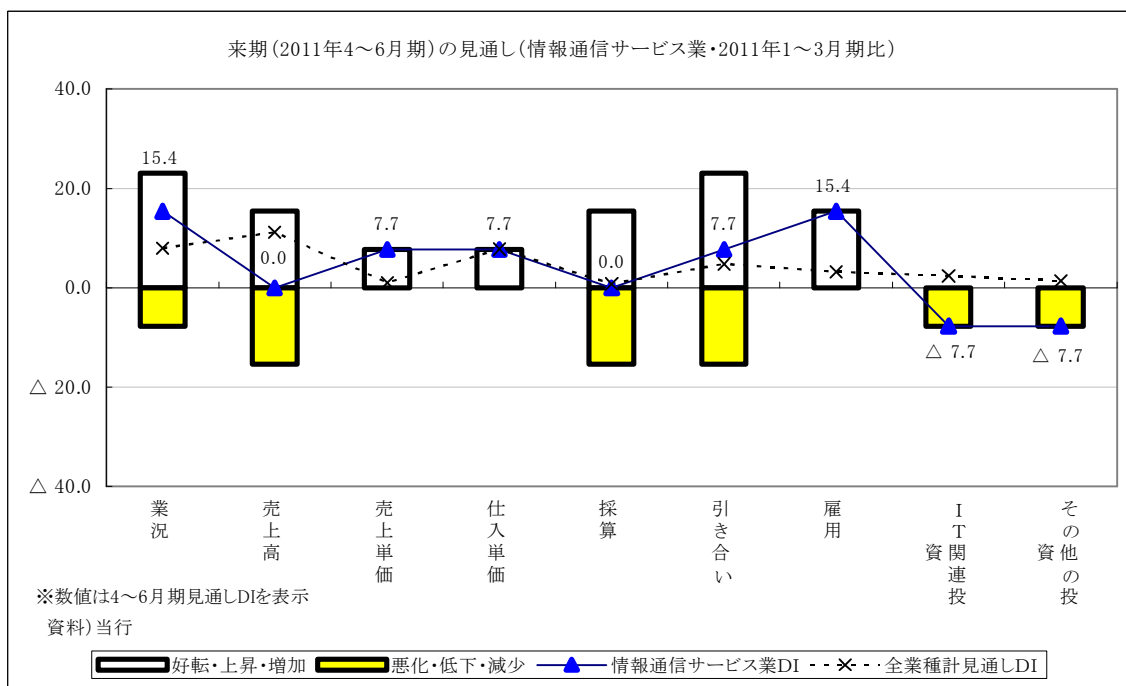
a. 当期の状況 (2011年1～3月期の前年同期比)

情報通信サービス業DIを見ると、地方公共団体や医療機関などからの引き合いは、引き続き増加しています。一方、一般企業からの引き合いについては、前年同期と比較すると徐々に増加しているものの全体的なIT投資意欲はまだ弱さが続きます。情報サービス業全体として**業況改善の動き**が見られます。



b. 来期の見通し (2011年4～6月期の2011年1～3月期比)

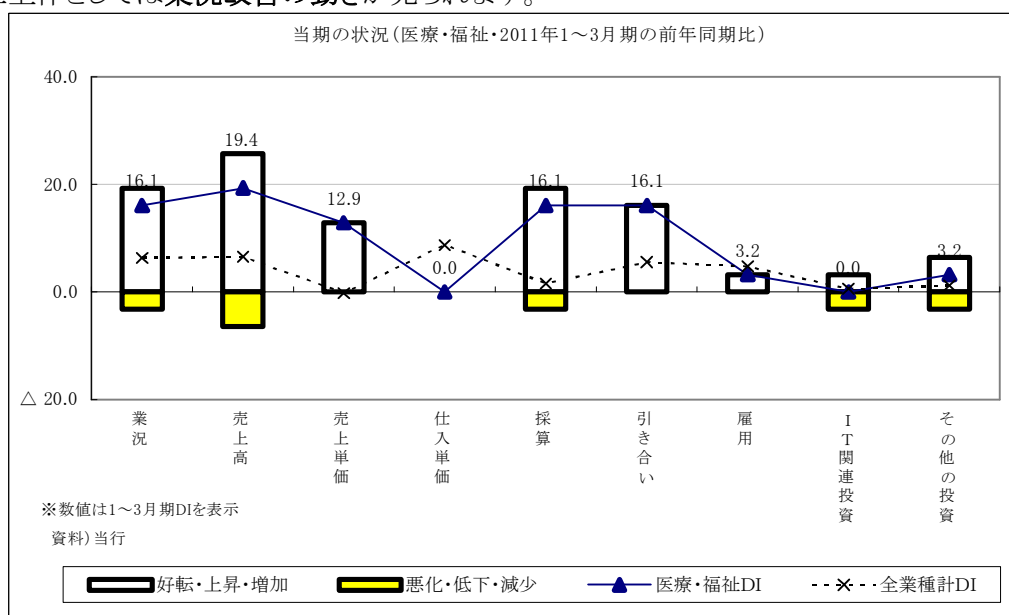
来期の見通しを見ると、引き続き地方公共団体などからの安定受注を見込みます。人員増強、営業強化の動きを充実させ、受注獲得を狙います。情報通信サービス業全体として**業況改善の動き**が見られます。



8. 医療・福祉

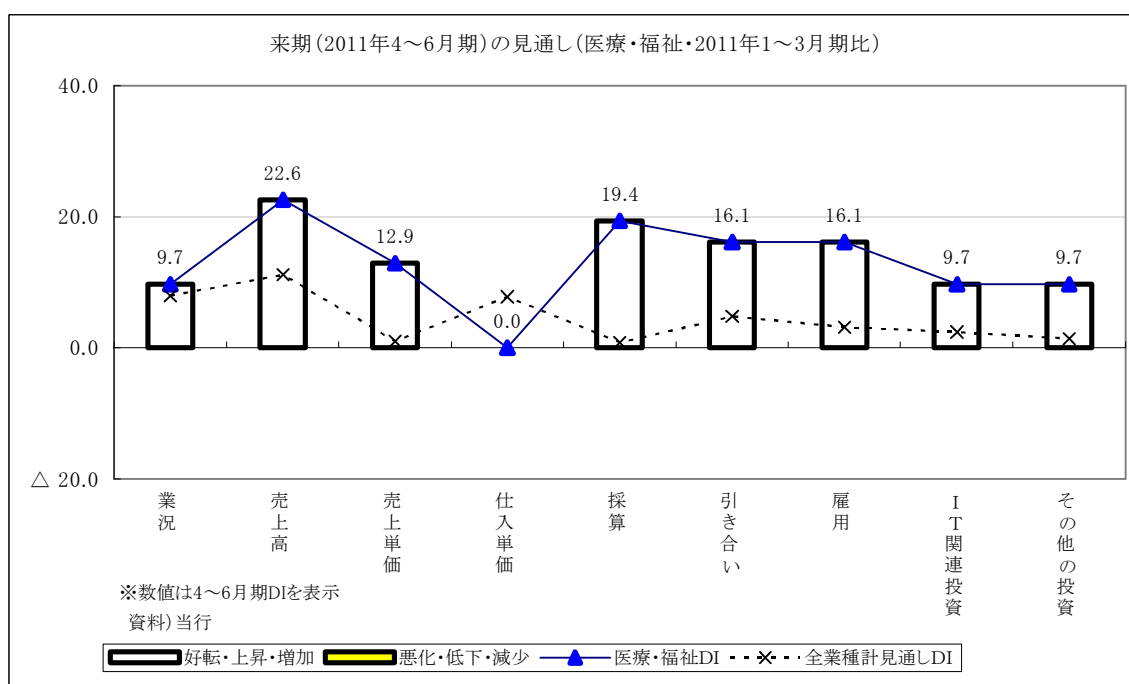
a. 当期の状況 (2011年1～3月期の前年同期比)

医療・福祉DIを見ると、冬場の季節的要因から外来患者数は安定的に推移しています。一方、施設利用者が入院することで介護施設の売上減少となるケースも見受けられます。高齢者サービス(通所リハビリや通所介護、高齢者住宅等)の充実など複合的なサービスの提供が増加しています。医療・福祉全体としては**業況改善の動き**が見られます。



b. 来期の見通し (2011年4～6月期の2011年1～3月期比)

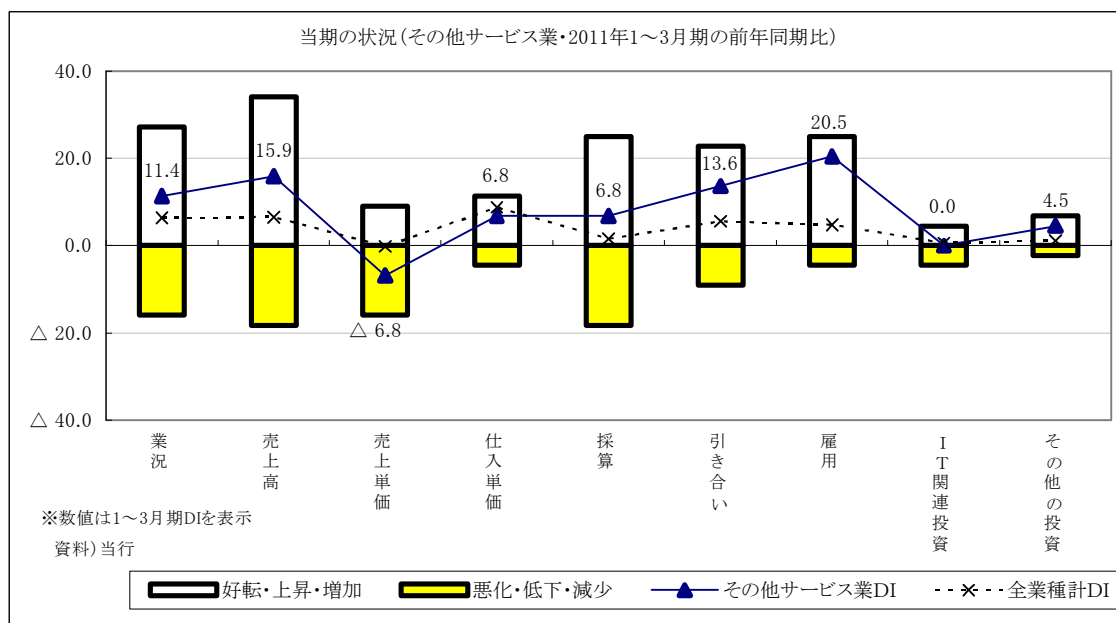
来期の見通し医療・福祉DIを見ると、2011年は診療報酬の改定も無く、引続き安定的な需要が見込まれます。病院施設においては、利益率の高い診療科目の稼働率向上などにより採算向上を目指します。高齢者向けサービスの強化・投資も継続的に行われるなど、医療・福祉全体として**業況改善の動き**が見られます。



9. その他サービス業(宿泊、飲食、ゴルフ場、遊戯場、映画館、結婚式場、教育関連等)

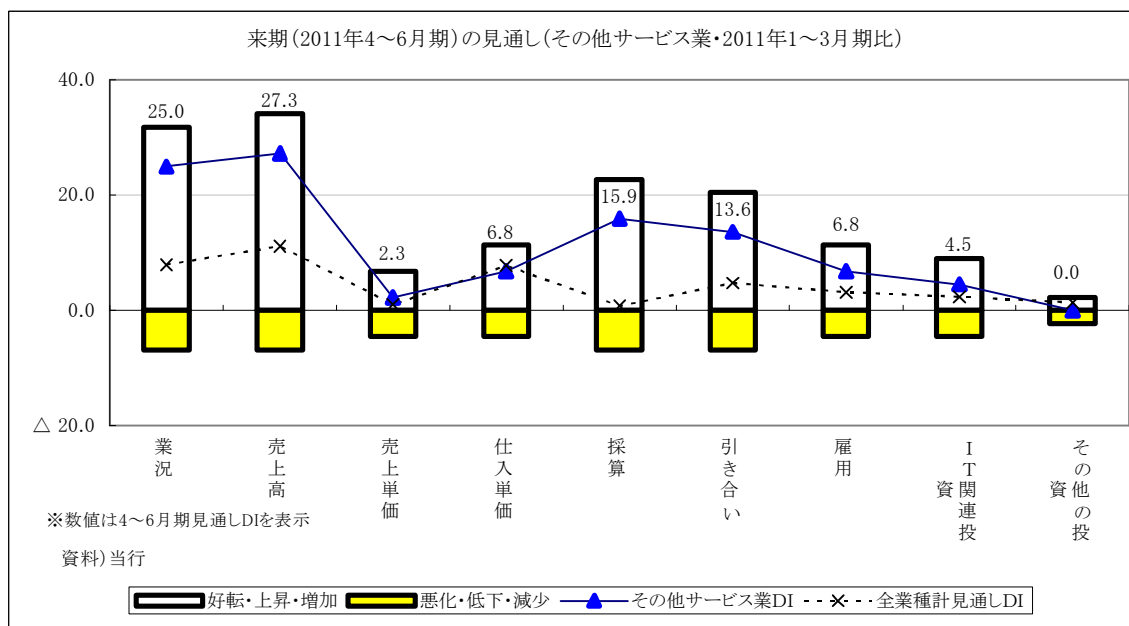
a. 当期の状況(2011年1~3月期の前年同期比)

その他サービス業DIを見ると、プロ野球キャンプ効果などから那覇市内の宿泊・飲食施設などが好転しました。一方、その他地域の多くは期待通りとはいかず、観光施設などは団体客の減少などの影響を受けました。ブライダル関連も厳しい状況は続くものの前年同期と比較すると回復傾向が見られます。その他サービス業全体としては**業況改善の動き**が見られます。



b. 来期の見通し(2011年4~6月期の2011年1~3月期比)

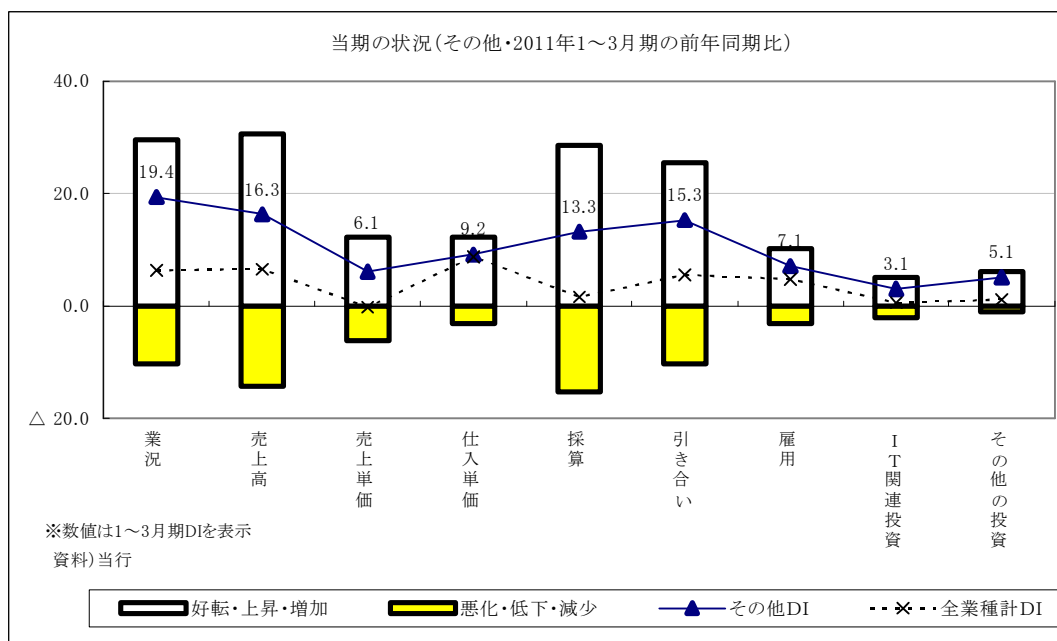
来期の見通しを見ると、ゴールデンウィークなどの観光需要が増加することが期待されます。また、宴会施設の小口プランの充実、美容・エステの介護施設出張、海外客を含むリゾートウエディングの取組強化など、各社とも新規顧客の獲得に向けサービスの充実化を図っています。その他サービス業全体として**業況改善の動き**が見られます。



10.その他(不動産、運輸、測量・設計コンサル等)

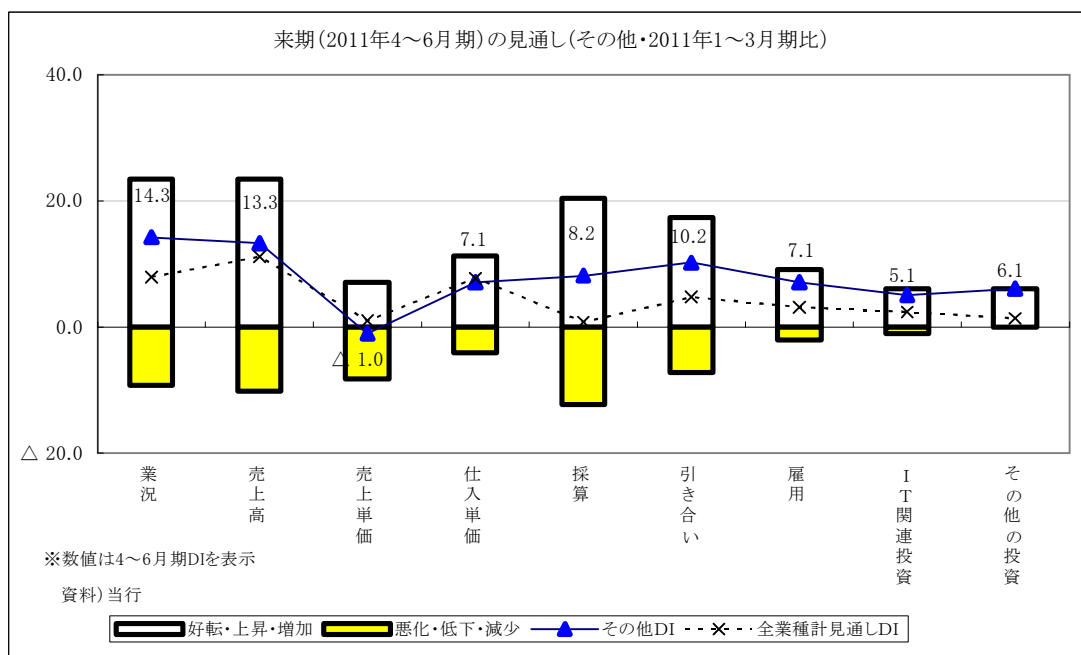
a.当期の状況(2011年1~3月期の前年同期比)

その他DIを見ると、運輸業は、原油価格の高騰や観光客数の減少などから採算は厳しい状況が続きます。不動産業は売買件数増加や賃貸管理物件の空室減少、家賃保証会社の契約件数増加など需要が増加しています。建設コンサルタント業も、徐々に受注が増加しています。その他全体としては業況改善の動きが見られます。



b.来期の見通し(2011年4~6月期の2011年1~3月期比)

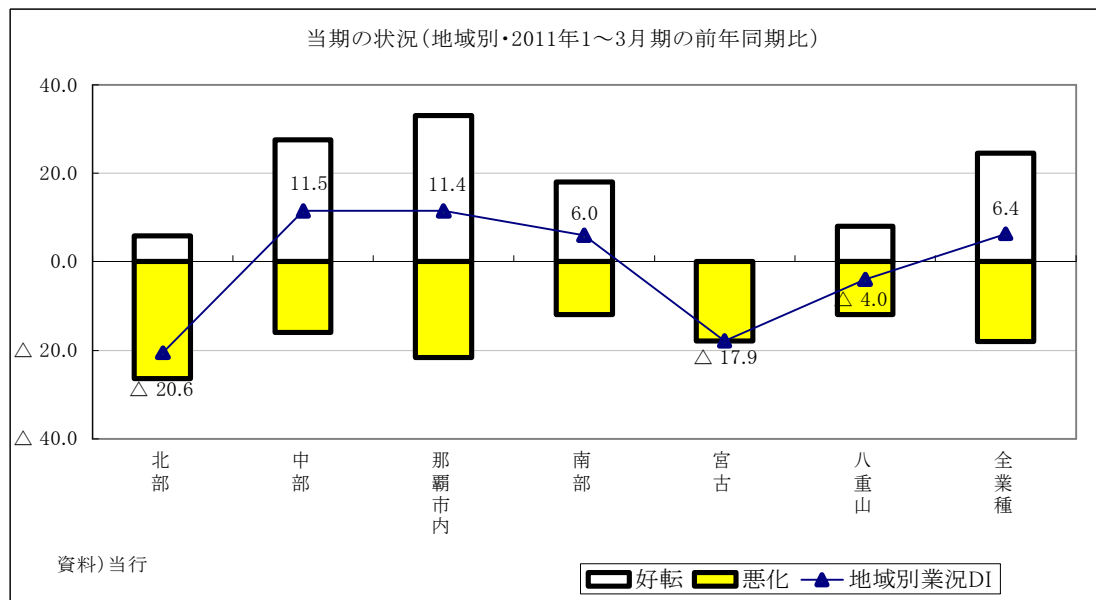
来期の見通しを見ると、公共工事の減少に伴い産廃・リサイクル関連業で需要の減少が見込まれます。運輸業においては燃料費高騰による懸念と、新年度・ゴールデンウィークなどによるビジネス・観光需要増加が期待されます。また、タクシー会社がEV車を導入するなど新しい動きも見られます。その他全体としては業況改善の動きが見られます。



Ⅲ. 調査結果(2) ～地域別の業況DI～

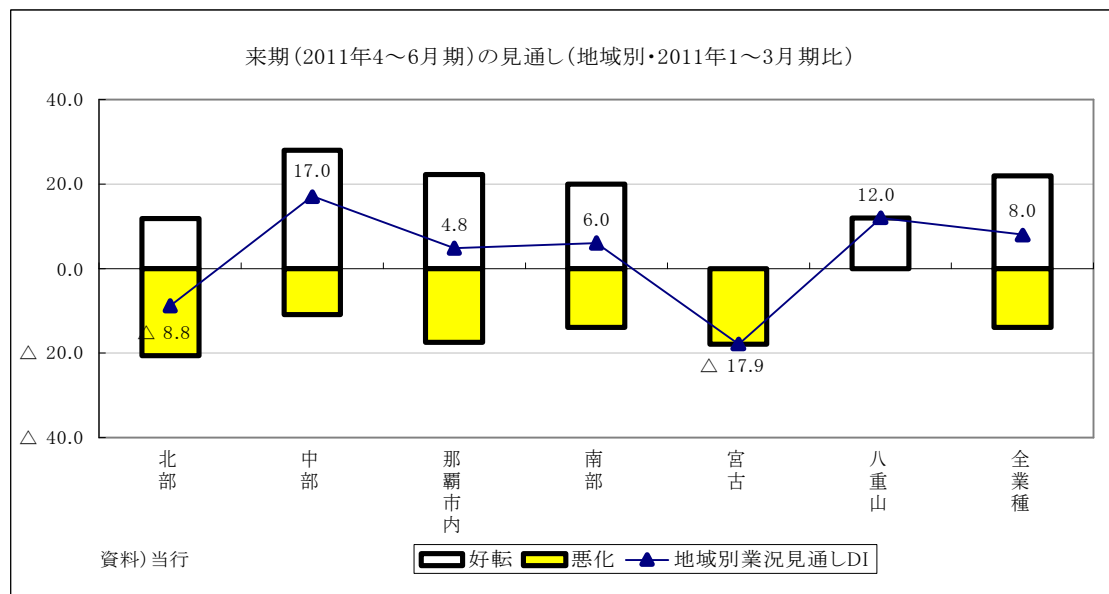
1. 当期の状況(2011年1～3月期の前年同期比)

地域別業況DIを見ると、那覇市内や中部、南部は、医療・福祉、小売業、その他サービス業、その他などの、様々な業種が混在し、中でも観光関連、医療・介護、不動産業などの影響から業況改善の動きとなりました。北部や宮古、八重山は土木業、卸・小売業の悪化が見られます。



2. 来期の見通し(2011年4～6月期の2011年1～3月期比)

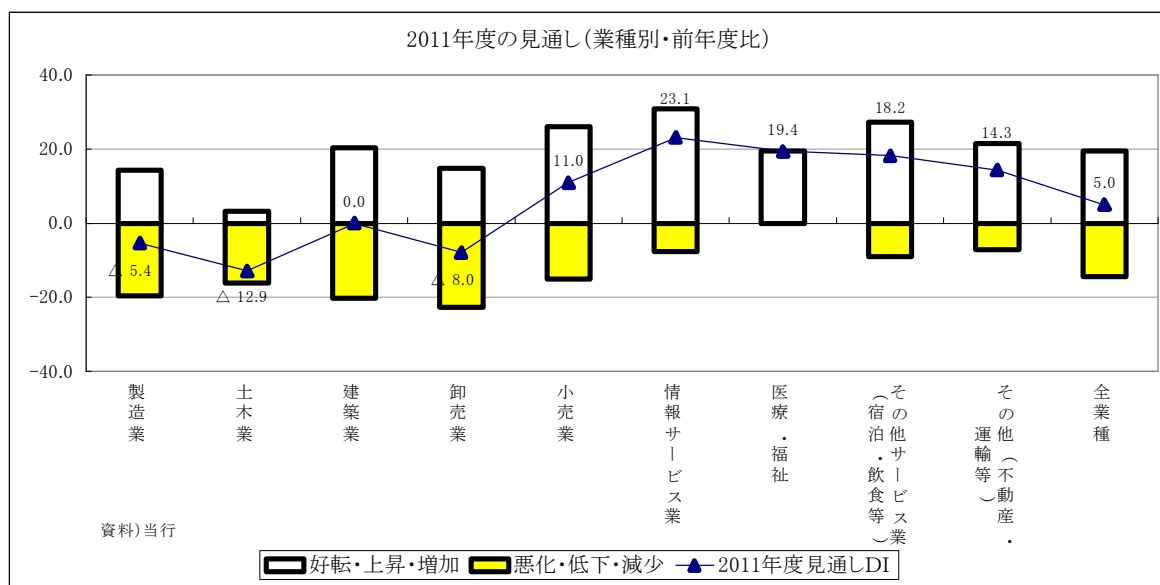
来期の業況見通しDIを見ると、八重山は、観光客数の回復や新石垣空港関連工事の増加などが期待されています。北部、宮古は引続き土木業を中心に厳しさが続く見通しです。中部は不動産業や医療・福祉などで引続き業況改善の動きが見られます。



IV.調査結果(3) ～2011年度の見通しDI (2010年度比)～

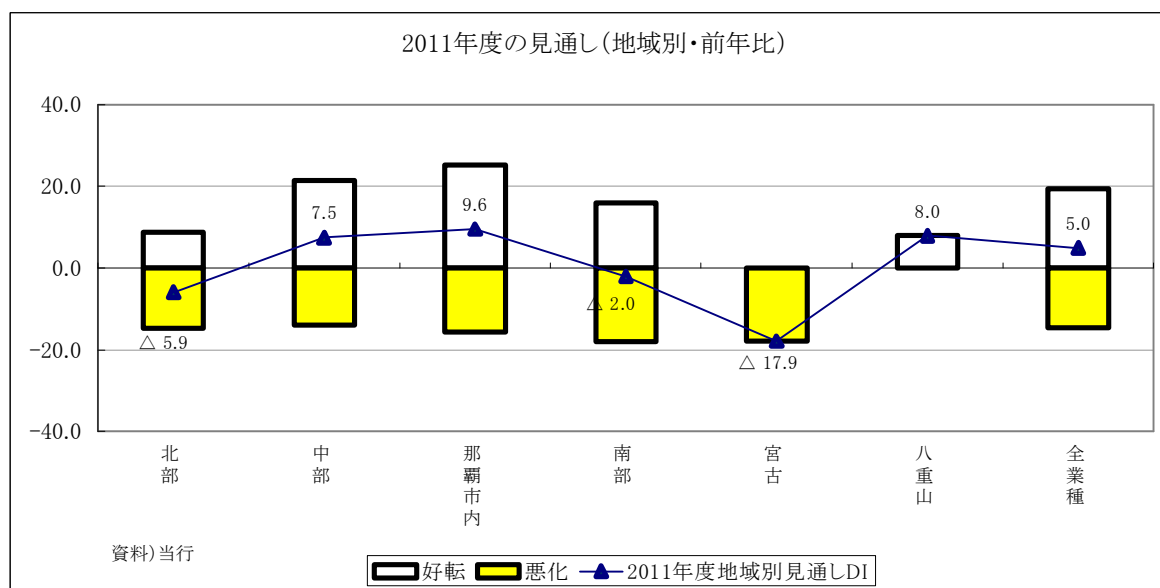
1. 業種別見通し

2011年度見通しDIをみると、公共工事の減少や原材料価格の高騰、価格競争の激化などから製造業、土木業、卸売業は引続き業況の弱さが続く見通しです。観光関連においては、羽田空港国際化や九州・東北新幹線の開通など分散化要因はあるものの、観光客数の増加に期待を寄せます。全体として、2010年度と比較し業況改善の動きが見込まれています。



2. 地域別見通し

2011年度の地域別見通しは、那覇市内、中部、八重山で業況改善の動きがみられます。北部、南部、宮古では2010年度に続き土木業を中心に製造業、卸売業、小売業などで引き合いの低下、採算の悪化などが懸念されています。八重山では新石垣空港関連工事などの建設需要の増加が期待されています。



V. まとめ

【当期業況DI】

- ① 当期（2011年1～3月期）の業況DI調査の結果は6.4と前年同期と比較すると、業況改善の動きが見られました。
- ② 公共工事の減少から、土木業は引続き受注環境の厳しさが続くものの、建築業において民間需要が増加しています。また、太陽光パネルの設置工事などは順調に増加しているようです。
- ③ 観光関連においては、団体客の減少などから観光施設などにおいて観光客の取り込みが弱かったものの、プロ野球キャンプの効果などにより那覇市内の飲食店・宿泊施設などは好調に推移しました。
- ④ 小売業については、自動車販売業でエコカー補助金の反動減が続いています。冬場の冷え込みなどから、冬物衣料や暖房器具の需要は増加しました。卸売業は、売上単価の低下が続く中、天候不順による青果物の仕入価格上昇などが挙げられました。
- ⑤ 医療・福祉は引続き好調に推移し、高齢者向け複合サービスの充実化が進められています。
- ⑥ 全体的に原油価格の高騰による採算の悪化が挙げられています。

【来期の見通しDI】

- ① 来期（2011年4～6月期）の見通しDIについては、公共工事の需要が減少する時期となり、土木業を中心に製造業や卸・小売業（資材販売等）などで業況の悪化が見込まれます。
- ② また、中東情勢から波及した原油価格の上昇に加え、砂糖や小麦などの商品価格の高騰も懸念されます。
- ③ 一方で、新年度需要により、小売業を中心に各業界で需要の高まりが期待されます。観光関連でも羽田空港国際化や東北・九州新幹線の開通などの観光客分散要因はあるものの、今年のゴールデンウィークは連休が取得しやすい日並びであり、観光客数増加に期待を寄せます。全体として業況改善の動きが期待されています。

